

平成15年度新規箇所 評価結果

事業名	武蔵小金井駅南口第1地区第一種市街地再開発事業	都市名	小金井市
施行者	都市基盤整備公団	施行面積	3.4ha

事業の概要
 平成7年度に事業認可されたJR中央本線連続立体交差事業と整合性を図りながら、交通広場などの都市基盤整備や土地の合理的かつ健全な高度利用を図ることにより、小金井市の玄関口にふさわしい商業・業務、住宅及び自然との調和のとれた安全で利便性のある複合中心市街地として整備するものである。

目的・必要性
 本地区は、JR中央本線による南北交通の分断に伴い、交通広場や駅周辺の都市基盤施設の整備が遅れたことから交通結节点としての機能を果たしていない。また、土地利用も低利用の状態、立地条件を生かし切れていない状況であるため、JR中央本線連続立体交差事業にあわせて「小金井のあたらしい顔づくり」を目標に本事業を進めるものである。

費用便益比(B/C)	3.36	費用	451億円	うち施設整備費等	269億円	うち用地費	182億円
基準年	平成14年	便益	1,514億円	うち区域内	233億円	うち区域外	1,281億円

効果等

- ・再開発事業によって交通広場等が整備されることより、通勤時間の短縮、駅成圏の拡大及び文化施設や商業施設の複合利用が可能となることなど利便性が向上し、さらに就業人口の増加により地域の活性化にも繋がる。
- ・JR中央本線連続立体交差事業により南北交通の遮断が解消され、これにより街の一体化が形成され、駅北口地区に於いても発展が望める。

関係自治体等の意見

今回実施する事業は、武蔵小金井駅南口地区のまちづくりのリーディングプロジェクトとして、JR中央本線連続立体交差事業にあわせて交通広場等の都市基盤の整備、商業、業務及び都市型住宅等の調和のとれた複合的な都市機能の充実を図り、小金井市の総合拠点にふさわしい良好な市街地の形成に寄与するものと認識している。

